

令和7年度学校評価実施計画

学校名	大分県立大分雄城台高等学校
-----	---------------

前年度評価結果の概要	○生徒一人一人に応じた全教職員参加の進路指導体制及び生徒指導体制の充実により、進路意識の向上と規範意識の醸成が図れた。 ○新学習指導要領への対応と、ESDの視点を踏まえた授業とSDGsを題材とした探究活動の評価・振り返りに重点を置いた研究を推進することができ、進路希望実現に効果を発揮した。 ○「雄城坂はあいさつの坂」という意識を生徒が持ち、清掃にも意欲的に取り組むことで、保護者や地域の方々から挨拶や掃除などについてよい評価を受けることができた。校内でのあいさつの意識を向上を目指す。 ○自転車事故件数は減少傾向にあり、自転車通学生集会などの取組の効果が表れている。自転車通学生の更なるマナー意識の向上に取り組むことにより、交通事故防止に努める。 ○文武両道実現の部活動、SDGsへの貢献を意識した生徒会活動、ボランティア活動を積極的にを行い、HPや広報誌「雄城坂」による情報発信を行うことができた。 ○一人一台端末の環境整備と百問線乱等のソフトウェアの効果的活用により、業務効率化・働き方改革の推進が図れた。勤務時間管理を意識できる取組が必要である。
------------	--

学校教育目標	中期目標	重点目標
「誠実・自主・創造」の校訓のもと、持続可能な社会の構築に必要な資質・能力である情報整理力・課題解決力・発信力・協働・自他の尊重・チャレンジ精神の育成を図る教育活動をととして、社会において逞しく生き抜き、主体的・積極的に社会貢献できる生徒の育成を目指す。	1 確かな学力の定着と3年間を見通した進路指導により、進路希望の達成を目指す。 2 真剣な学習活動と活発な部活動をととして、「文武両道」を推進する。 3 信頼関係に基づいた、手厚い生徒指導と積極的なキャリア教育により、心豊かで、尊敬される人材の育成を推進する。	1 あらゆる教育活動における主体性の育成による「情報整理力」と「課題解決力」の向上。 2 規範意識の醸成による「協働」と「自他の尊重」の向上。 3 外部との連携・協働による「発信力」と「チャレンジ精神」の向上。 4 教職員の心身の健康の保持増進による教育の質の向上。

PL:プロジェクトリーダー、SL:サブリーダー				
重点目標	達成(成果)指標	重点的取組	取組指標	PL SL
1 あらゆる教育活動における主体性の育成による「情報整理力」と「課題解決力」の向上。	① 外部模試の各学年GTZのB1以上 65名以上 (国公立大合格者 100名以上)	○一人ひとりの進路意識や学力の向上を図るための個に応じた進路指導の実践	○模試検討会(1・2年3回、3年1回)、進学審査会(3年3回)における詳細な情報共有と進路希望に基づいた面接、α-プロジェクト・アドバンスセミナー・進路ガイダンス等による学習意欲喚起	PL 進路指導主任 SL 年次部主任
	② 授業の理解度・満足度の割合 90%以上	○ESDによる「持続可能な社会の構築に貢献できる資質・能力」を育成する指導と評価の実践	○DXスクールを見据え、SDGsに主眼を置いた総合的な探究の時間の探究活動や互見授業等(年2回)を軸とした「単元デザインシート」による授業並びに観点別評価・めあてと振り返りの充実	PL STEAM教育主任 SL 指導教諭
	③ 自主学習時間1年2h・2年3h・3年4h以上の割合 80%以上	○24時間をデザインし、総探も含めた家庭学習及び早期からのキャリア教育充実による真の「文武両道」の実現	○自主学習時間調査(年4回)・対外模試と運動した個人面談の充実(年3回以上:推薦等を意識した各種コンテスト・資格取得等の推進や模試結果の振り返り)・Classi学習機能の活用	PL 進路指導主任 SL ICT推進リーダー
	④ 学校行事への積極的参加の割合(強い肯定) 70%以上	○SDGsへの貢献を意識した学校行事や生徒会活動等のあらゆる教育活動を活性化	○SDGsに貢献する生徒主体の生徒会活動・学校行事の実践(年3回)	PL 特別活動主任 SL 年次部主任
2 規範意識の醸成による「協働」と「自他の尊重」の向上。	① 「あいさつの励行」・「清掃の徹底」の割合(強い肯定) 70%以上	○「雄城坂はあいさつの坂」運動の継続と清掃活動の徹底	○師弟同行による「先のあいさつ」と「清掃活動」の徹底(常時)	PL 生徒指導主任 SL 年次部主任
	② 自転車事故件数 20件以下	○自転車通学生の交通ルール・マナーの向上	○新入生への早期交通安全指導と登校指導・駐輪場指導等の実施(毎月)及び生徒・保護者への時間に余裕のある登校の推奨・依頼	PL 生徒指導主任 SL 年次部主任
	③ 安心して学校生活を送れる学校だと思う割合(強い肯定) 60%以上	○ESDによる「協働」・「自他の尊重」・「自律的精神」の育成	○「先の先」によるいじめの早期発見、人間関係づくりプログラムの実施(毎週・各学期)と「OGIメモ」の活用(毎日)	PL 保健・教育相談主任 SL 人権教育主任
3 外部との連携・協働による「発信力」と「チャレンジ精神」の向上。	① 学校満足度の割合(強い肯定) 50%以上【保護者】	○保護者との協働による学校教育活動の推進	○PTA総会・体育文化振興会総会・保護者連絡会等の計画と運営の充実(参加率70%以上)	PL 総務主任 SL 教務主任
	② 地域の産業界や同窓会等との協力・連携による学校づくりの割合(強い肯定) 40%以上【保護者】	○地域の産業界や大学等との連携強化	○「50周年基金講演会」・「50周年国外・国内研修」の実施とSDGsを題材とした総合的な探究の時間における保護者・企業等による学校教育参画(年2回以上)	PL 主幹教諭 SL 教務主任
	③ HP等で本校の魅力が伝わっている割合(強い肯定) 40%以上【保護者】	○情報発信の強化	○HPの積極的な更新(年間150回以上)、「学校広報紙」発行(年6回以上)	PL 図書・広報主任 SL 教務主任
4 教職員の心身の健康の保持増進による教育の質の向上。	① 月1人当たりの時間外業務時間 35時間以下	○教職員の勤務時間に対する意識向上に向けた時間管理の徹底	○書類作成時における昨年度のファイル等の提示による業務効率化と「早く帰る日」(毎週)と定時退勤日(毎月)の推進	PL 教頭 SL 衛生管理者
	② 月当たり時間外勤務45時間超の人数 18人以下	○教職員・生徒の健康管理のための部活動休養日の徹底	○部活動休日(週2日)を確保した部活動指導計画の作成とClassi等による周知徹底(毎月)	PL 主幹教諭 SL 特別活動主任